
日本ロシア文学会会報 第43号 2014年2月

1. 2013年度第63回総会報告 2. 11月・12月理事会関連事項 3. 会員異動
4. 新役員・委員 5. その他 6. 事務局からのアナウンス
-

1. 2013年度第63回総会報告

第63回定例総会・研究発表会は、2013年11月2日（土）、3日（日）の両日、東京大学本郷キャンパスで開催されました。11月2日（土）午後に開催された定例総会の主な内容は以下の通りです。

(1) 第10回日本ロシア文学会賞表彰

桑野隆学会賞選考委員長より学会賞選考過程について説明があった後、本年度の学会賞を番場俊氏（単行本部門）に決定したこと、また、授賞者の都合により授賞式は懇親会で行うことが報告された。なお、論文部門については該当論文がなかったことがあわせて報告された。

(2) 議長団選出

東北支部より吉川宏人氏、関東支部より八木君人氏、関西支部より青木正博氏が選出され承認された。

(3) 会務報告

事務局より会員異動（2012年10月～2013年10月）について報告があり承認された（「3. 会員異動」の項を参照）。

(4) 会長選挙

2013年度会長選挙管理委員会（委員長：鳥山祐介氏）により郵送投票の開票結果が発表された。郵便投票において有権者総数の過半数を得た者がなかったため、役員選出規程に基づきこのうちの上位3名（諫早勇一氏、林田理恵氏、望月哲男氏 [50音順]）を候補とする決選投票が行われ、望月哲男氏（総投票数71票のうち47票）が会長に選出され、会長就任受諾の挨拶があった。

(5) 日本ロシア文学会二葉亭四迷賞検討WGからの提案

桑野隆座長より、「日本ロシア文学会二葉亭四迷賞」設置と内規（案）、細則（案）が提案された。内規（案）については承認され、細則（案）については理事会でさらに検討することとなった。なお、賞の名称については引き続き検討中であることも報告された。

(6) 各種委員会報告

各委員長により今年度の活動の報告が行われた。

(7) 2012/2013年度決算および会計監査報告

事務局より2012/2013年度決算案について資料に沿って説明があり、監事2名によって確認済みであることが報告された。若干の質疑応答の後、拍手で承認された。

(8) 2013/2014年度予算案について

事務局より2013/2014年度の予算案が資料に沿って説明され、拍手で承認された。

(9) 2014年度大会について

2014年度大会は2014年11月1日、2日に山形大学で行われることが事務局から報告された後、担当校の中村唯史氏より挨拶があった。

(10) 新役員および新委員について

事務局より資料に沿って新役員、新委員（「4. 新役員・委員」の項を参照）が紹介された（監事に寒河江光徳氏が加わることが口頭で伝えられた）後、拍手で承認された。なお、2014年度大会組織委員長は、12月理事会

で決定されることが確認された。

(11) その他

- ・ICCEES 幕張大会のための寄付について 沼野会長より 2015 年 ICCEES 幕張大会への寄付の財源として維持会費納入の呼びかけがあった。また、寄付金はおもに若手研究者の発表支援のために使用されるとの説明があった。

2. 11・12 月理事会関連事項

11 月理事会は 11 月 2 日（土）に東京大学本郷キャンパスで、12 月の理事会は 12 月 14 日（土）に早稲田大学戸山キャンパスで開催されました。主な報告事項および審議事項は以下の通りです。

11 月理事会

- 会員異動（入会 2 名、退会 6 名）——「3. 会員異動」の項を参照。

- 2012/2013 年度決算について

- 2013/2014 年度予算案について

- 2014 年度第 64 回大会について

- 新役員、新委員の選出について

以上は総会報告を参照。

- 関東支部会報の学会 HP への掲載について

金田一真澄支部長より、支部報（300 部）の印刷費、郵送費が支部財政に大きく影響しているため、次号より学会 HP に掲載すること、また印刷は 50 部程度に抑えて執筆者のみに郵送することが報告された。

- JCREES 幹事の選任について

沼野充義会長より、JCREES（日本ロシア・東欧研究連絡協議会）の活動と幹事の役職について説明があった。ロシア文学会からは従来は会長が幹事として選出されてきているが、沼野会長が今年 2 月に代表幹事に就任したことや 2015 年 ICCEES 幕張大会への準備もあり、幕張大会終了まで沼野会長がそのまま幹事を務めることが提案され、承認された。

12 月理事会

- 新役員について

望月哲男会長より 2013-2015 年度の副会長として諫早勇一氏、三谷恵子氏を選出した旨の説明があり、承認された。

- 会員異動（入会 1 名）——「3. 会員異動」の項を参照。

- 2013 年度第 63 回大会の総括と会計報告

乗松大会実行委員長より委員会の活動と大会運営についての総括があった。また、会計についても説明があり、大会準備金 30 万円のうちの 14 万 7,063 円を学会へ返納したことが報告された。沼野充義大会組織委員長よりプレシンポジウム、研究発表、シンポジウムについて総括があり、大きな問題もなくおおむね盛況であったとの報告があった。

- 2014 年度第 64 回大会（山形大学）について

相沢大会実行委員長より、日程が 2014 年 11 月 1 日（土）・2 日（日）に決まったことが報告された。

- 二葉亭四迷賞（仮）選考委員長選出について 執行部より佐藤昭裕氏を委員長とする提案があり承認された。

次回の全国大会に向けて今後の活動スケジュールが確認された。また、推薦手順や賞金、副賞、2014 年度全国大会での関連イベントの開催などについて意見交換があった。なお、名称に関しては関係者との調整が続けられているとの説明があった。

3. 会員異動（敬称略）

ご逝去：宮川保栄（関東）、金本源之助（関東）、狩野昊子（関東） 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

入会〔氏名（支部：専攻分野／推薦者）〕：藤原潤子（関西：文化人類学／林田理恵、堀江新二）、夏目智徳（関東：演劇学／武田清、岩井憲幸）、大嶋かず路（関東：音楽学、神学／村田真一、井上幸義）、田中沙季（関東：19世紀ロシア小説／井桁貞義、貝澤哉）、齋須直人（関西：19世紀ロシア文学、ドストエフスキー／佐藤昭裕、楯岡求美）、小田桐奈美（関西：社会言語学、ロシア語教育／近藤昌夫、白山利信）、ボリス・ラーニン（関東：20-21世紀文学、文学教育／望月哲男、野中進）、ヴラディーミル・フィラトフ（関東：ロシア哲学／井桁貞義、坂庭淳史）、原真咲（関東：ロシア文学、ウクライナ文学／前田和泉、沼野恭子）、笹山啓（関東：現代ロシア文学／沼野恭子、前田和泉）、西田容子（関西：言語文化学／アレクサンドル・ディボフスキー、ヨコタ村上孝之）、宮崎康子（関東：ロシア民族学、ユロージブイ／伊東一郎、坂庭淳史）、平田真也（関西：ロシア言語学／上原順一、林田理恵）

退会：村上光昭（関西）、河原畑浩一郎（関西）、近藤扶美子（関東）、金沢大東（関東）、近間由美子（関東）、御子柴道夫（関東）、松井俊和（北海道）、ユーリー・クロチコフ（関東）、中村健之介（関東）、笹尾道子（東北）、小原雅俊（関東）、渡部満彦（関東）、高橋啓吉（関東）、木部敬（関東）、鈴木法子（関東）、森田まり子（関東）、Rogoznaya, Nina（中部）、宮本憲（関西）、村手義治（関東）、今仁直人（関東）、インナ・スパチュワ（関東）、山川博（関東）、鈴木健司（関東）

4. 新役員・委員（敬称略）

会長：望月哲男 副会長：諫早勇一、三谷恵子

理事：北海道支部 望月恒子（支部長）、岩本和久 東北支部 吉川宏人（支部長） 関東支部 野中進（支部長）、井桁貞義、伊東一郎、井上幸義、白山利信、貝澤哉、亀山郁夫、金田一真澄、鴻野わか菜、佐藤千登勢、鳥山祐介、沼野恭子、沼野充義、村田真一 中部支部 郡伸哉（支部長）、中澤敦夫 関西支部 林田理恵（支部長）、岡本崇男、楯岡求美、松本賢一 西日本支部 太田丈太郎（支部長）

顧問：川端香男里、佐藤純一、米川哲夫 監事：寒河江光徳、源貴志 JCREES 幹事：沼野充義

編集委員会：大平陽一（委員長）、相沢直樹、秋山真一、大西郁夫、北見論、杉本一直、鳥山祐介、西野常夫、匹田剛、三浦清美、八木君人

学会賞選考委員会：浦雅春（委員長）、石川達夫、大石雅彦、服部文昭、番場俊、望月恒子

国際交流委員会：野中進（委員長）、ヴァレーリイ・グレチコ、野町素己、前田和泉、村田真一

広報委員会：岩本和久（委員長）、古賀義顕、番場俊、宮崎衣澄

ロシア語教育委員会：黒岩幸子（委員長）、白山利信、寺田吉孝、林田理恵、柳町裕子

倫理委員会：鈴木淳一（委員長）、澤田和彦、西中村浩、三谷恵子、イリーナ・メーリニコワ

日本ロシア文学会二葉亭四迷賞（仮）選考委員会：佐藤昭裕（委員長）、諫早勇一、岩本和久、浦雅春、大平陽一、黒岩幸子、野中進、三谷恵子、望月哲男

2014大会組織委員会 三谷恵子（委員長）、相沢直樹、黒岩幸子、中村唯史、乗松亨平

2014大会実行委員会 相沢直樹（委員長）、坂庭淳史、中村唯史、長谷川章、柳田賢二

5. その他

○松下隆志氏が日本学術振興会育志賞を受賞

日本学術振興会は2014年1月31日、第4回日本学術振興会育志賞の受賞者の一人として、日本ロシア文学会から推薦のあった松下隆志氏（北海道大学文学研究科歴史地域文化学専攻／研究課題：ソ連崩壊後の現代ロシア文学研究）を決定するとの発表を行いました（選考や授賞式の詳細については、日本学術振興会育志賞のサイトをご参照ください）。

なお、育志賞は将来我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰するために、平成21年に創設されています。

6. 事務局からのアナウンス

○今年は名簿発行の年ですので、現在事務局で把握しているみなさまのデータを同封いたしました。住所等のご変更の有無、掲載希望項目ご変更の有無につきまして、なるべくメールにて4月末日までに事務局までお知らせください。詳細につきましては同封のご案内を御覧ください。

○2013/2014年度分の学会費をまだ納入されていない方々には振替用紙を同封いたしました。学会はみなさまの会費によって支えられていますので、納入いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

○本年度の維持会費はICCEES幕張大会への寄付金の財源の一つともなっております。寄付金は若手研究者の大会参加の支援に役立てられることになっておありますが、みなさまには引き続き積極的な納入をお願いいたします。なお、1口5,000円です。なお、振込用紙がない場合には、郵便局振込口座（口座記号番号：00100-7-6507）に直接お振り込みください。

○2014年度の大会は11月1日（土）、2日（日）に山形大学で開催されます。

○現在若手（非テニユア）の方々の支援のためのいろいろなプランが練られていますので、学会ホームページを閲覧していただければ幸いです。

日本ロシア文学会会報 第43号 （2014年2月10日発行）

発行人 望月 哲男 編集人 日本ロシア文学会事務局

〒162-8644 新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学学術院 坂庭淳史研究室内

電話：03-5286-0581

E-MAIL: sakaniwa@y.waseda.jp